

新規事業採択時評価結果（平成24年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業の概要

事業名	一般国道168号 五條新宮道路 長殿道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：奈良県吉野郡十津川村大字長殿 至：奈良県吉野郡十津川村大字長殿	延長	2.6 km		
事業概要	<p>五條新宮道路は、紀伊半島の内陸部（奈良県五條市）と沿岸部（和歌山県新宮市）の生活中心都市及びその間の市町村との連携強化、交流促進を支援する延長約130kmの地域高規格道路である。</p> <p>このうち、長殿道路は五條新宮道路の一部を構成する道路で、吉野郡十津川村大字長殿の延長2.6kmの事業である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>五條新宮道路は奈良県五條市から和歌山県新宮市に至る延長約130kmの地域高規格道路であり、これまでに約15kmが供用済みである。五條新宮道路の一部を構成する長殿道路の現道区間では、平成23年9月の紀伊半島大水害により大規模な被災を受け、孤立集落の発生や救命・救急活動に支障を来した。</p> <p>当該区間の整備により、災害に強い道路の確保、線形の厳しい箇所・幅員隘路区間の解消、及び第二次医療施設への搬送時間の短縮等が図られる。</p>				
全体事業費	約110億円	計画交通量	約2,800台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

【奈良県知事】・早期の整備をお願いしたい。  
・災害に強く希望がもてる本県南部地域の実現に寄与。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.1	総費用：84億円 (事業費：84億円 維持管理費：0.36億円)	総便益：91億円 (走行時間短縮便益：85億円 走行費用減少便益：6.1億円 交通事故減少便益：0.38億円)	基準年 平成23年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.0 (交通量 -10%)	B/C=1.2 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.0 (事業費 +10%)	B/C=1.2 (事業費 -10%)	
		事業期間変動	B/C=1.0 (事業期間 +20%)	B/C=1.1 (事業期間 -20%)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	—	注目すべき影響はない	
		事故対策	—	注目すべき影響はない	
	歩行空間	—	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	◎	当該事業の整備により、第2次医療施設への搬送時間が短縮され、速達性が向上する。	
		地域経済	○	災害時の通行止めの回避により、観光振興が期待できる。	
		災害	◎	防災点検要対策箇所をすべて回避し、災害に強い安全・信頼性の高い道路が確保されることで、災害時の地域住民の孤立を防ぐとともに、第一次緊急輸送道路である国道168号の通行止めが解消される。	
環境		○	地形改変量を最小限とすることで、自然環境・猛禽類等への影響を最小限にしたルート・構造である。		
地域社会	◎	現道区間は線形の厳しい箇所、幅員隘路区間が連続するなど、地域間の連携に支障を来している。 (線形の厳しい箇所：6箇所(整備前)→0箇所(整備により全て回避)) (幅員隘路区間：16箇所(整備前)→0箇所(整備により全て回避))			
事業実施環境	○	・奈良県知事、国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会が長殿道路の新規事業化を要望			

採択の理由

費用便益比が1.1と、便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、災害時の通行止めの回避により、安全性が向上するほか、救急医療施設への速達性の向上や、地域間連携の促進などの効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。